

# ガイダンス資料（界面化学 担当類家）

## 1 本日の配布資料

- ガイダンスに関するもの
  1. これ
- 講義に関するもの
  1. 「界面とコロイドの化学」

## 2 履修に関して

1. 界面化学は、有機化学や無機化学のように扱う物質の種類を限定する学問分野ではなく、ましてや、電気化学や分析化学のように用いる手法によって他と区別される学問分野ではない。対象となる現象に界面が重要な役割を果たせば、それは界面化学の対象となりうる。界面化学では、熱力学、反応速度論、統計力学、電気化学、有機化学、... と、ありとあらゆる学問を用いる。すなわち、これらの講義を予め履修し（単位を取得し）ていることが望ましい。最低限、「熱力学」は履修していることを前提として授業を進める。

## 3 講義に関して

1. 黒板（ホワイトボード）に書かれたことを写すだけで、完璧な講義ノートが完成するような板書をする予定はありません。口頭での説明などをメモするなど、各自で工夫してください（これは当たり前のことです）。なお、板書する内容は基本的に全て指定教科書に書かれていますので、板書せずに説明を聞くことだけに専心しても構いません。

## 4 教科書

「界面とコロイドの化学」を教科書として用います。

## 5 評価に関すること

1. 出席、レポート、試験（自筆のメモ1枚のみ持ち込み可）で評価します。  
出席（10%）、レポート（30%）、試験（60%）の評価を基本とします。
2. 欠席について  
やむを得ない理由による欠席（病欠や忌引き）は所定の規則に従って欠席届けを提出してください。その場合には、欠席扱いとせず出席点を与えます。ただし、個別に補習などは行いません。また、レポートなどが出た場合は、友人に聞くなどして対応してください。基本的に、レポートの締切延長措置などは（特別な事情があり、学生から申し出が無いかぎり）行いません。

## 6 レポートに関すること

講義では毎回（かどうか、定かではない。できるだけ、多くの宿題を出すようにします）レポートを課しますので、必ず全問に解答、もしくは実験し、次の講義の終了後に提出して下さい。それ以降は遅刻提出とします（減点します）。欠席（やむおでない理由に限る）により遅れてレポートを提出する場合は、欠席届とともに（ホチキスで綴じて）提出して下さい。

## 7 連絡に関すること

突然の休講などが生じた場合は、大学の定めた規則どおり、UNIPA などでお知らせしますが、本講義の連絡事項は、基本的に講義中に行います。欠席した場合などは、友人に連絡事項などがないか聞くなどするようにして下さい。

## 8 配布プリントに関すること

1. 講義で配布するプリントは、講義開始 10 分前ぐらいに講義室の入り口に一番近い席においておきます。自分の分だけ持っていくようにしてください（友達の分まで持っていかないでください）。
2. 全てのプリントは A4（30 穴アリ）で配布します（ので、A4 の 30 穴ファイルを準備して下さい）。
3. 配布プリントは受講者数 + 数部印刷します（から、プリントが不足しても類家のせいではありません）。
4. 講義で配布した残りは、類家の居室の前のボックスに入れておくので、必要であれば持って行ってください。ただし、ファイルからあふれたら廃棄します。その場合は、WEB にアップしてあるものを印刷して下さい。
5. ただし、欠席しても↑にプリントがあることが保証されているわけではありません（誰かが 2 部持っているとも限らないし。それを完全に防ぐことはありません）。

## 9 質問に関すること

1. 疑問があれば講義中に質問してください。答えられる内容であれば、その場で答えます。無理な場合は、次の講義で回答します。
2. どうしても講義中に質問するのが恥ずかしいと感じる場合、類家の居室まで質問に来てください。オフィスアワーは気にしなくて結構です。いつでも構いません。